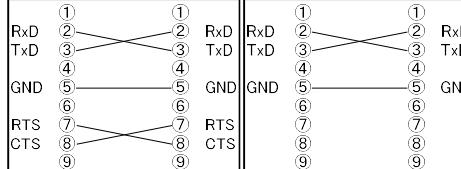


【RS-232C】計測器との通信がうまくできない時のチェックシート

計測器がリモート状態にならない時

No.	確認内容	確認結果
1	<p>正しい接続ケーブルを使用していますか？ インターリンク用結線かクロス結線を使用してください。</p> <p>※RS-232Cのケーブルには下記の3種類があります。</p> <p>①ストレート結線 ②インターリンク用結線(ハードフロー制御機能使用時) ③クロス結線</p>  <p style="text-align: center;">▲インターリンク用結線 ▲クロス結線</p>	
2	<p>9pin-25pin変換機を使用している場合 内部でストレート、クロス結線の場合があるので、使用するケーブルと組み合わせた状態で<u>クロス結線</u>となっているか確認してください。</p>	
3	<p>USB-RS232C変換器を使用している場合 変換器のドライバが正しくインストールされているか確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。</p>	
4	<p>COMポート番号を確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。</p>	

通信設定の確認

No.	確認内容	確認結果
	<p>測定器のIDをご確認ください 例) *IDN? HIOKI,RM3545,123456789,V1.00</p>	
5	通信スピードは合ってますか？ パソコンと計測器の設定を同じにしてください。	
6	フロー制御を使用している場合 ・「HARD」時はインターリンクケーブルを使用して下さい。 ・「Xon/Xoff」時は、インターリンクケーブルまたはクロスケーブルを使用して下さい。	
7	データビットは「8」、パリティは「なし」、ストップビットは「1」になってますか？	
8	ターミネータはパソコンと計測器で同じ設定になっていますか？（「CR」または「CR+LF」）	
9	PLCを使用している場合は、初期設定が上記と異なる場合があるので確認してください。	

通信確認

No.	確認内容	確認結果
10	付属CDのサンプルアプリで計測器と通信できるか確認してください。	
11	「Teraterm」等のターミナルソフトで計測器と通信できるか確認してください。	
12	通信ソフトを自作される場合は、付属CDのサンプルプログラム(Visual Basic)を参考にしてください。 (単純な1回測定、コマンド送受信の基本、オープン・ショート補正の終了を待つサンプル等)	

こんな時は？

No.	確認内容	確認結果
13	<p>計測器本体から「ピッ！」と音がする場合、コマンドエラーまたは実行エラーが発生していますので、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマンドの綴り ・コマンドを1つずつ送り、どこでエラーが発生しているか確認 ・通信スピードやデータビット 	

それでも解決できない

No.	確認内容	確認結果
14	パソコン、計測器本体を再起動してみてください。 ドライバ等をインストールした後など改善される場合があります。	